

授業科目名	レクリエーション論	担当教員名	新山 悦子
必修/選択	選択	開講学年・学期	1年 前期 (年間開講数 1講座)
科目区分	その他の科目	単位数	2単位
施行規則に定める科目区分 等		授業方法/担当形態	講義 / 単独
		特記事項	
授業の到達目標	レクリエーションの基礎を知る。レクリエーション実践のポイントを理解する。ライフスタイルにおける違いを理解する。 (1)レクリエーションの基礎、成り立ち、重要性を理解する。 (2)レク指導者の必要性と支援の基礎を理解する。 (3)ライフステージでのレクリエーションの重要性を理解する。 (4)レク用語、レク財を知り習得する。		
授業の概要	レクリエーションの意味を理解し、その重要性を認識する。 インストラクター（指導者）の役割、生活の中での指針を理解する。 ライフステージとレクの重要性と基本的支援を理解する。 レク用語、レク財を知る。		
テキスト	自作プリント配付		
参考書・参考資料等	「レクリエーション技術の基礎」日本レクリエーション協会		
成績評価の方法	参加意欲と態度…20%、中間テスト…30%、レポート…30%、発表姿勢…20%		
授業計画	授業の内容	到達目標番号	
第1回	授業内容の説明。レクリエーションの基礎理論Ⅰ、レクリエーションとは?(1)レクの語源	(1)	
第2回	(2)レクリエーションの意義	(1)	
第3回	2.レクの歴史と背景 (1)海外のレク (2)日本におけるレク	(1)	
第4回	(3)レクの基本的考え方 (4)21世紀のレク	(1)	
第5回	3.レクへの期待 (1)生活者として (2)支持者として	(2)	
第6回	4.人を支える「支援者」にとってのレク ①生活・人生を豊かにするレク ②人と人と社会をつなぐレク ③手段としてのレク ④人と支援「支援者」にとってのレク	(2)	
第7回	*レクリエーションの基礎理論Ⅱ、インストラクターの役割 1.レク支援の考え方(1)レクによる支援とは? (2)基本的な支援 (3)レク支援の行動指針	(2)	
第8回	2.レク指導者に期待される役割	(2)	
第9回	*レクの基礎理論Ⅲ.コミュニティワーク 1.	(1),(2),(3)	
第10回	2.アイスブレイキング (1)アイスブレイキングの意義 (2)基礎技術	(2),(4)	
第11回	前半の講義の復習。中間テスト	(1),(2),(3),(4)	
第12回	*レクの基礎理論Ⅳ.ライフスタイルとレク 1.ライフステージごとの課題を考える(乳児期、児童期、青年期)	(3)	
第13回	(壮年期・中年期、老年期、障害者、女性、家族	(3)	
第14回	レク材について①	(4)	
第15回	レク材について②	(4)	
定期試験	レポート提出		